

# 実動対抗演習抗議のスタンディングに参加を 明日(8/20)午後1時から道東あさひ農協【旧】事務所跡

お伝えしてきたとおり、8月15日から9月21日まで、矢臼別演習場で第5旅団(帯広)と第10師団(名古屋)の戦闘部隊が、極めて実戦的即応的な大規模軍事演習を展開します。

明日(8/20)午後1時から別海で抗議のスタンディングを行います。場所はいつもの通り、道東あさひ農協旧事務所跡の空き地前(大地みらい信金向かい)です。

急な呼びかけになりますが、西部地区の方も含め、多数参加していただけたらと思います。40分間ほどのスタンディングです。よろしくお願ひします。

1回目の対抗演習の様子を伝える陸上自衛隊機関紙「朝霧」8月13日

## 11・39戦闘団 9日間の激闘 緞の進 訓練を (HTC) 初の進

普通科連隊を基幹とした諸職種協同の二つの戦闘団(1個戦闘団約1000人規模)が対抗方式で訓練し、その間の両者の指揮幕僚活動や戦術行動をモニターしてその能力を評価・分析する陸自「北海道訓練センター(HTC)」の初の運営が6月末から7月上旬にかけ、道東の矢臼別演習場で実施された。この訓練は今年3月末に新編された訓練評価支援隊(北千歳)が運営業務にあたり、第1回目となる訓練は、陸自唯一の機械化連隊・11普通連(苫小牧)を基幹とする第11戦闘団と、昨年、富士訓練センター(FTC)で史上初めて対抗部隊を撃破した39普通連(弘前)を基幹とする第39戦闘団が攻守に分かれて激突した。9日間にわたって繰り広げられた陸自史上最大級の対抗演習の模様を、訓練評価支援隊と39普通連から届いたリポートで紹介する。

### 矢臼別で陸自最大級の 実動対抗演習

(以下本文は省略)

※掲載写真のキャプション(説明文)には「HTCの演習ではレーザー交戦装置を使い、リアルな戦闘を現出。隊員の負傷や戦死の判定は、同行した訓練評価支援隊の行動統制員が行った。」とあります。まさに本格的戦闘の訓練です。